

御池の形成

4,600 年ほど前、霧島連山史上最大の火山噴火があり、カルデラと呼ばれる火山性クレーターがぼつかりできました。のちにカルデラには水が溜まり、御池が形成されました。

深さ約 94m、円周およそ 3.9km の御池は、霧島連山のカルデラ湖の中で最大の深さと大きさを誇ります。湖は海拔 305m で、高さ 30m にも及ぶカルデラの急壁に囲まれています。

ヤマヒルに関する注意

御池周辺の地域にはヤマヒルが生息しています。接触することのないよう、訪れる方は十分に注意が必要です。ヒルは通常、6 月から 9 月にかけての暖かい月に活発です。噛まれても健康上のリスクは低いですが、訪れる際は以下の安全対策を行いましょう。

長靴に丈の長いズボンを必ず着用し、ズボンの裾は長い靴下にしっかり入れ込みます。虫除けスプレーをまんべんなく足にかけ（下記参照）、虫除け剤に浸けたタオルを首や肩など露出された肌につけま
す。ヒルの好む棲みかは日陰にある落ち葉ですので、林道を歩く際は用心してください。

塩水（食塩濃度 20%）や市販の防虫剤などが虫除けにふさわしいです。

御池訪問の楽しみ方

御池の後ろにある高千穂峰は、カルデラ湖とその畔を見おろすように高くそびえ立っています。時には山の景色が、透き通った湖面に映り込みます。堅木の密林に囲まれた御池地域は自然愛好家にとって真の楽園といえましょう。

湖のきれいな水は豊富な魚を誇っており、畔は年中釣り人に人気のスポットとなっています。

パドルボードやカヤック、そのほかのウォータークラフトもレンタルすることができ、湖をゆったり流れながら山景色を楽しめるくつろぎのひと時を提供します。

水から出たら今度は森へ。整備の行き届いた歩道を歩き、深い常緑広葉樹林を抜けると、近くに小池があります。小池は御池の西側に位置する小さなカルデラ湖です。きのご類や昆虫、そのほか多様な生物が棲んでいることから、この森は「野鳥の森」(*Wild Bird Forest*)として親しまれています。この森に生息する多様な鳥類の中には珍しいものもあり、御池地域は当然、野鳥観察で人気のスポットとなっています。